



＜世界母乳育児週間 世界母乳の日＞

「第34回母乳育児シンポジウム」

日時：2026年8月29日(土)、30日(日)

会場：大阪市中央公会堂大集会室

もう一度考えよう、母と子と社会のために

主催：一般社団法人日本母乳の会

後援：UNICEF 東京事務所 こども家庭庁 日本産科婦人科学会 日本小児科学会 日本小児科医会

日本新生児育成医学会 日本周産期・新生児医学会 日本助産師会 日本看護協会 大阪産婦人科医会

大阪小児科医会 大阪府看護協会 大阪府助産師会 大阪市（



©大阪市中央公会堂

「第34回母乳育児シンポジウム」プログラム

スケジュール

8月29日(土) 9:45~17:50		8月30日(日) 9:30~16:30	
9:45~10:10	開会にあたって	9:50~10:30	一般演題
10:10~10:25	報告1：安心して母子同床・同室ができるために	10:30~12:20	シンポジウム2 母乳育児一現場で何をすべきか
10:25~12:10	一般演題-1、2		1)基調：多様化する時代の母乳育児支援——助産師に求められる役割と実践
12:10~13:10	昼食		2)産科混合病棟における母乳育児支援の現状・取り組み
13:10~13:25	報告2：日本の「BFH」年間データ報告		3)お産を継続させるための混合病棟の取り組み
13:25~14:25	特別講演1： 歴史から考える母乳育児一乳と捨て子の近代		4)病院として取り組むBFHの意義—院長の立場から
14:25~14:40	休憩		5)BFHを目指している取り組みの実際—母親を取り巻く環境と意識の変化にどう対応するか
14:40~17:20	シンポジウム1 多様性の社会のなかで母乳育児を広げるために	12:20~13:20	昼食
	1)産婦人科医がうまく母乳育児に関われるためのステップ	13:20~13:30	報告3:関西自治体の母乳育児支援への取り組みの現状調査
	2)母と子にやさしくするために～小児科医の立場から	13:30~14:30	特別講演2： 母乳の免疫を支える腸内細菌叢
	3)母乳にこだわらなくなった母親の意識の変化にどう対応するか	14:30~14:40	休憩
	4)母乳育児の長期的影響—疫学研究からみた母体骨密度との関係—	14:40~16:20	特別企画： スマホで参加！インタラクティブディスカッション「母乳育児のこの情報、ホント？」SNS等で得られる母乳育児の情報について皆さんと考えます
	5)BFH施設でのさまざまな逆風の中続ける母乳育児支援活動	16:20~16:30	閉会挨拶 第35回シンポジウム実行委員会挨拶
17:25~18:00	ポスターセッション		
18:30~	懇親会 アンド・アイランド		

<プログラム>

メインテーマ： もう一度考えよう、母と子と社会のために

9:30 開場

<8月29日(土)> 9:45~18:00

総合司会 岡田 裕子(助) 京都民医連中央病院 吉田美寿々(小) 大阪母子医療センター

9:45~10:10 開会にあたって

開会挨拶：第34回母乳育児シンポジウム実行委員長 白石 淳

代表理事挨拶：一般社団法人日本母乳の会 永山 善久

メッセージ：こども家庭庁母子保健課課長 田中 彰子

10:10~10:25 報告1

安心して母子同床・同室ができるために

講師：林 時仲(小) 北海道療育園 母子同床・同室検討委員会

10:25~11:15 一般演題 ①

司会：藤後 朝美(助) 加古川中央市民病院

長屋 建 (小) 旭川医科大学

1) 女性の栄養摂取状況と母乳育児との関係性について

土屋 姫花 谷口病院(泉佐野市)

2) 妊娠初期の妊婦が考える児の栄養方法に関する意識調査

奥島 和希 春ウイメンズクリニック/東北福祉大学(名取市)

3) 里帰り出産と母乳栄養の関連

四垂 真弓 岩手県立磐井病院 産婦人科・新生児科(一関市)

4) 帝王切開における早期母子接触と母乳育児支援(堺市)

寺田 真理 ベルランド総合病院 南4病棟・MFICU

5) 出産後24時間以内の授乳回数と1ヶ月健診時の母乳栄養率

棕木 久瑠実 浜田病院産科病棟(大阪市)

11:15~12:10 一般演題 ②

司会：甲斐 昌彦(小) ベルランド総合病院

永谷ひとみ(助) 笠松産婦人科・小児科

6) 出産後24-48時間授乳回数が母乳栄養確立に与える影響

黒須 英雄 浜田病院小児科(大阪市)

7) 帝王切開術後早期の支援が退院時の授乳方法に及ぼす影響—ベッドサイドでの母乳育児に関する看護ケアの調査

北村 彩香 岐阜県総合医療センター4階東病棟(岐阜市)

8) 入院中の母乳育児支援において強化すべき内容の検討—2週間健診の再診理由から—

北條 萌子 宮城厚生協会坂総合病院 4階病棟(塩竈市)

9) A病院NICUにおけるドクターカー搬送児の母乳育児支援の実際—迎え搬送と三角搬送を比較して—

河野 成美 ベルランド総合病院新生児病棟(堺市)

10) 当院の授乳支援の満足度に関する調査—授乳支援の実態と課題—

長瀬 春野 立川相互病院(立川市)

10:00~13:00

乳頭ケア実践研修(別途申込者のみ) 別室にて)

佐藤 文彦(産)横山病院、有道 順子(助)サン・クリニック、井田久留美(助)関西看護医療大学、関西地区他ファシリテーター)

<12:10~13:10 昼食・休憩>

13:10~13:25 報告2

日本における「赤ちゃんにやさしい病院・BFH」年間データ発表

講師：鈴木 彩花(助) 旭川医科大学 日本母乳の会データ管理委員会

13:25~14:25 特別講演1

「歴史から考える母乳育児一乳と捨て子の近代」

講師：沢山 美果子 岡山大学 文明動態学研究所

司会：白石 淳(小) 国立循環器病研究センター

14:25~14:40 休憩

14:40~17:20 シンポジウム1

「多様性の社会のなかで母乳育児を広げるために」

司会：森下美樹(助) 石川県立中央病院

谷口 武(産) 谷口病院

1) 産婦人科医がうまく母乳育児に関われるためのステップ

山崎 峰夫(産) パルモア病院

2) 母と子にやさしくするために～小児科医の立場から

安原 肇 (小) 奈良県総合医療センター

3) 母乳にこだわらなくなった母親の意識の変化にどう対応するか

谷口 紗恵子(助) 横浜市立大学附属 市民総合医療センター

4) 母乳育児の長期的影響－疫学研究からみた母体骨密度との関係－

古板 規子(産) 京都民医連中央病院

5) 「BFH 施設」でのさまざまな逆風の中続ける母乳育児支援活動

渡辺 裕美(助) 岐阜県総合医療センター

17:25~18:00

ポスターセッション(3階 中集会室)

18:30~ 懇親会 アンド・アイランド(淀屋橋・会場から歩いて5分)

<8月30日(日)> 9:50~16:30

総合司会：伊藤 直美(助) 済生会兵庫県病院 木下かすみ(助) 国立病院機構神戸医療センター

9:50~ 10:30 一般演題 ③

司会：山岸 久枝(助) 富山県立中央病院

安原 肇 (小) 奈良県総合医療センター

11) 赤ちゃんの気持ち質問票の点数と母乳栄養確立状況との関連性に対する検討

門屋 明子 純心会パルモア病院(神戸市)

12) 効果的なバースレビューをするための取り組み～褥婦が出産体験を肯定的に捉えて育児がスタートできるために～

富田 早苗 宮城厚生協会坂総合病院 4階病棟(塩竈市)

13) 全職員が参加する母乳育児～産後ケアセンターでの非医療従事者の育児支援～

尾形 真弓 医療法人サン・クリニック（岡山市）

14) 当院の産後ケアを振り返りみえてきた母乳育児支援

保科 愛 済生会新潟病院 A4 病棟（新潟市）

10：30～12：20 シンポジウム 2

「母乳育児一現場で何をすべきか」

司会：西田 美香(助) 国立病院機構長崎医療センター

黒須 英雄(小) 浜田病院

1) 基調：「多様化する時代の母乳育児支援——助産師に求められる役割と実践」

高田 昌代(助) 日本助産師会会長

2) 産科混合病棟における母乳育児支援の取り組み—部署横断的なチームでの低出生体重児への支援

村尾 由花(助) 姫路赤十字病院

3) お産を継続させるための混合病棟の取り組み

藤田 由理(看) 諏訪中央病院

4) 病院として取り組む BFH の意義—院長の立場から

左右田 裕生(産) 済生会 兵庫県病院

5) BFH を目指している取り組みの実際—母親を取り巻く環境と意識の変化にどう対応するか

小笠原 啓(小) 公立岩瀬病院

<12：20～13：20 昼食・休憩>

13：20～13：30 報告-3

関西自治体母乳育児支援状況の取り組みの現状調査

講師：荒川 郁美(助) あらかわ助産院

13：30～14：30 特別講演 2

「母乳の免疫を支える腸内細菌叢」

講師：野地 智法 東北大学大学院農学研究科

司会：永山 善久(小) 長岡療育園

14：30～14：40 休憩

14：40～16：20

特別企画：スマホで参加！

インタラクティブ(双方向)ディスカッション「母乳育児のこの情報、ホント？」

SNS 等で得られる母乳育児に関する情報についてみなさんと考えましょう。

いくつかの情報を取り上げ、その情報についてどのように思われるか等、アンケート形式でスクリーン上に提示します。各自のモバイル端末で投票をしていただき、スクリーンおよび各端末にリアルタイムで表示された結果をもとに討論します。そしてその情報が事実に基づいているか、噂なのか、検証します。(実行委員による解説あり)

16：20

閉会の挨拶 第 34 回母乳育児実行委員会副実行委員長 大谷ゆかり(助)

次回の挨拶 第 35 回母乳育児実行委員会実行委員長 森沢 猛(小)

16：30 閉会